

リニア路線の放射線量調べよ JR東海を批判

本村議員 国交委

本村伸子衆院議員は3月30日の国土交通委員会、リニア中央新幹線のルートが、岐阜県内のウラン鉱床が点在する地域を通る問題を取り上げました。

本村氏は、JR東海が放射線量を測るボーリング調査を、環境影響評価書の際に行っていないとし、「丁寧な説明や、住民の理解と納得の前提がない」と批判しました。国交省の藤田鉄道局長は、工事認可後に「ウラン鉱床と地質が類似した箇所では1本のボーリング調査をしている」と答えました。



本村氏は、独自に住民団体と調査した資料をもとに、JR東海が放射線量を測りながら掘削するとして

全長3キロの区間より、他の区間の線量が高いとし、「3キロの区間だけというのには根拠がない。事前に沿線ルートを調査して、どんな放射性物質が含まれているか、調査・情報公開すべきだ」と追及。石井啓一国交相は、「JR東海において3キロの区間以外でもウラン鉱床に比較的近く、放射線量の高い掘削土が発生する可能性のある区域について、地質等の状況把握に取り組む」と答弁しました。

環境基準超の地下水JR報告せず
また、本村氏は、2月22日に発覚したリニア工事に先立つ地下水調査で環境基準を超える鉛が検出されたのにJR東海が岐阜県に報告せず、住民にも知らせていなかった問題を追及しました。

基準値を超える鉛や総水銀などが入った水を飲めば、命や健康にかかわり、人道上の大問題だとして、JR東海は、感覚が麻痺していると追

若者とざっくばらんに交流 たけだ、すやま候補

3日、豊橋の演説会のあと、たけだ、すやま両候補を囲む若者のつどいが開かれました。高校生、大学生、教師や弁護士ら25人の青年たち、28歳のしもおく奈歩県議も参加し、ざっくばらんに話し合いました。

自動車関連の下請け企業で働く女性性は「賃上げは10年間なし。同僚が次々と辞め、3月も10人が辞めた」と訴えました。



たけだ候補は、党が前回の参院選と衆院選で躍進し、国会でブラ

の規制を要求。厚労省が調査に乗り出したことを報告。「参院選でさらに躍進し、ブラック企業、ブラックバイト規制法をつくらう」と呼びかけました。4月から大学院に進学する学生は「奨学金の返済額は利子も含め約600万円」と話しました。

戦争法については、「子どもの未来のため戦争法は廃止すべき」(子どもの音楽教室で働く女性)、「人の命を軽んじる政治はいや」(看護師をめざす生徒)などの声が出され、初めての選挙となる青年は「俺たちの声を聞いてくれる日本共産党に投票する」と話しました。

たけだ候補は「シールズなど、若いみなさんが今、政治を動かしている。本気になって運動すれば、素晴らしい未来が待っている。私も参院選で必ず勝利します」と決意表明しました。

及しました。岐阜県では、「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」があり、それに照らして報告漏れということになったが、「他の都県の条例や要綱はどうなっているか、国交省としてつかんでいるか」とただすと、藤田局長はつかんでいないと答弁しました。

消費者契約法の対象になると答弁
さらに本村氏は、リニアの用地取得が消費者契約法の適用を受けることを明らかにし、恵那市の地権者が「ウランがでてきたらどうするか」と質問したことに対し、JR東海は、ルートが直角に曲がってウランをさけるかのような、でたらめな説明をしていたと指摘。同法の「不実告知」(事実と違うことをいう)にあたり、契約の取り消し、無効になるような説明をしていることを告発しました。

本村氏は沿線7都県で未解決の問題が山積みで、「こんな段階で南アルプス工事に着手、トンネルで穴をあける、日本の宝に穴をあけるなどなどでもない。工事をどんどんすすめるやり方は立ち止まらせ、認可取り消しも含め、リニア計画そのものを見直すべきです」と批判しました。

たけだ候補 井上議員、市田議員と訴え 2、3日
たけだ候補は、磐田市と豊橋市の演説会に参加し、井上さとし参院議員、鈴木ちか選挙区候補(磐田)、市田忠義副委員長・参院議員、すやま初美選挙区候補(豊橋)と訴えました。

岐阜・下呂市議選、静岡・御前崎市議選、3日告示、10日投票
●下呂市議選(定数14、立候補16) あごう孝枝(66)現、中島しんご(62)現、宮川しげじ(86)元
●御前崎市議選(定数15、立候補16) 清水すみお(69)現
浜岡原発が立地する御前崎市議選では告示日に、島津幸広衆院議員、5日は、たけだ良介参院比例候補が応援に入りました。